

[報告]

SC15 報告

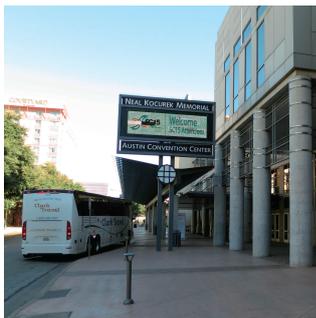
東北大学サイバーサイエンスセンター 小松一彦

2015年11月15日～20日、スーパーコンピュータに関する最大の国際会議 SC15 (International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage and Analysis)が米国テキサス州のオースティンコンベンションセンターにおいて開催されました。SC15は、78件の論文発表をはじめとする研究成果・技術論文を発表する本会議(Conference)と、352もの企業・大学・研究所等がスーパーコンピュータに関連する製品や研究成果を発表する展示会(Exhibition)から構成されています。総参加人数も非常に多く1万2000人を越え、会場の中だけでなく会場周辺のホテルでも多数のワークショップや技術交流が行われています。

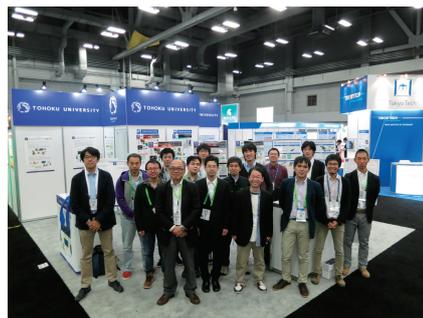
サイバーサイエンスセンターでは、流体科学研究所、金属材料研究所、東北メディカル・メガバンク機構と合同で、展示会へ参加いたしました。展示ブースでは、新たに竣工したサイバーサイエンスセンター2号館や新スーパーコンピューティングシステムSX-ACEの紹介をはじめ、SX-ACEを利用したシミュレーションの高速化やスーパーコンピュータを容易に使うためのシステムソフトウェアなど、最新の研究成果の展示や発表を行いました。16～19日の4日間の展示会期間中の訪問者は300名以上にものぼり、活発な議論・情報交換を行うことができました。

また、スパコン研究部の研究成果として、本会議のポスター発表やCREST「ポストペタスケール高性能計算に資するシステムソフトウェア技術の創出」ブースでの展示も行いました。本会議ポスター発表では、実際のアプリケーションの振る舞いに近いベンチマークであるHPCGにおいてSX-ACEが世界最高の実効効率を達成したことや、SX-ACEを用いたリアルタイム津波浸水・被害予測シミュレーションシステムの開発について発表し、多くの研究者と有用な議論を交わすことができました。

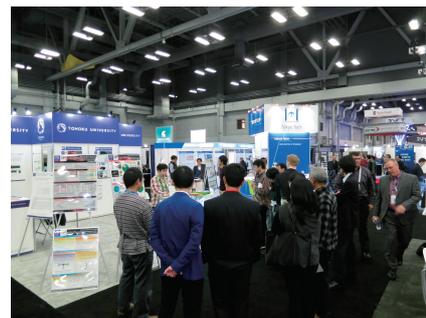
次回のSC16は11月13日～18日に米国ユタ州ソルトレイクシティで行われる予定です。ソルトレイクシティでの開催は2012年SC12以来、4年ぶりになります。



SC15 会場入り口



東北大学展示メンバー集合写真



展示ブースでの発表の様子